

# 環境分科委員会のプロジェクト

## 北東アジア青少年環境シンポジウム 2006

### 1 開催結果の主な内容

#### ・ 自然環境保全に向けた活動発表

11 団体（日本 2、中国 2、韓国 3、ロシア 4）それぞれが実施している野生生物の保護や森林保全等の自然環境保全活動について発表を行った。

#### ・ 環境学習の実施

川において水生生物を採取し、その種類から水の汚染の程度を調査する活動及び生物多様性に関する学習を行った。

#### ・ 「北東アジア地域の青少年からの提言」の意見交換

北東アジア地域の環境保全に向けて、この地域に住む人々はこれからどう行動すべきかについて参加者間で意見交換を行った。

### 2 開催概要

(1) 開催期日 8月21日（月）、22日（火）

(2) 開催場所 ロシア連邦 沿海地方ウラジオストク市  
「才能児童学校」及びロシア連邦児童センター「オケアン」

#### (3) 主催者等

主催：富山県、財団法人環日本海環境協力センター、ロシア連邦沿海地方政府  
後援：財団法人自治体国際化協会

#### (4) 参加者（4か国・6自治体・63団体）

中学生 97名

〔	日 本：	6名（富山県6名）
	中 国：	8名（遼寧省8名）
	韓 国：	8名（江原道3名、忠清南道5名）
	ロ シ ア：	75名（沿海地方72名、ハバロフスク地方3名）

〕

#### (5) テーマ 自然環境保全

#### (6) 内 容

ア 挨拶 コルチャギン P.G. 沿海地方政府自然管理部長  
三田（財）環日本海環境協力センター専務理事

#### イ 活動発表（11団体）

- ・ 山から教わるエコロジーライフ（富山県：南砺市立上平中学校）
- ・ セツボランティア 20周年を迎えて（富山県：射水市立新湊西部中学校）
- ・ 人類の友達を守り、生命のネットワークを大切に（遼寧省）
- ・ “アナグマ洞穴”からの物語（遼寧省）
- ・ 学校の美しい森づくり（江原道）

- ・ 環境体験活動報告（忠清南道）
- ・ 花で彩られた学校を守る（忠清南道）
- ・ 社会環境当番「リカンデル」への参加（沿海地方）
- ・ 学校における環境保全・啓発事業（沿海地方）
- ・ コウノトリ・自然内野外観察とひなの室内観察結果（ハバロフスク地方）
- ・ 湧き水の泉保護活動、ビーチハ村周辺水質環境調査（ハバロフスク地方）

#### ウ 環境学習

- ・ 「淡水バイオモニタリングと無セキツイ動物を使用した水質評価」  
（ロシア科学アカデミー極東支部 ヴィシーヴコワ T.S. 主任研究員）
- ・ 「生物多様性が生態系（環境）を守る ～微生物が守る環境～」  
（富山大学理学部生物圏環境科学科 中村省吾 教授）

#### エ 「北東アジア地域の青少年からの提言」の意見交換

### 「北東アジア地域の青少年からの提言」における主な意見

#### ＜身近なところから取り組みを始めることが大切＞

- ・ 野鳥が暮らしていける環境を保護するためには、きれいな川、海を取り戻していかなければならない。そのためには、私たちができることから始めることが必要である。  
まずはごみ拾いを継続し、植樹や花をいっぱい植えるなど、シンポジウムで学んだことを活かして自然とのかかわりを持っていきたい。（日本）
- ・ 私たちは政治家でも大企業の社長でもないから、環境を保全するために私たちができることは、小さな身の回りの環境保全活動からはじめることが必要だと思っている。  
みんなこまめに身近なことから取り組んでいきましょう。（ロシア）

#### ＜現在の活動を継続していくことが大切＞

- ・ 絶滅が近いといわれている薬草を育て、絶滅をストップさせるための研究をしている。  
重要なことなので、ずっと続けていきたいと思っている。（ロシア）
- ・ 松の木が切られ、減ってきているので、エコクラブで植林活動を行っている。植えることにより、わずかだが、数とその分着実に増加するのはうれしい。  
皆さんも一人一本植えれば緑が増え、環境が豊かになります。（ロシア）

#### ＜活動を広げていくことが大切＞

- ・ エコクラブで地域のごみ拾いを行っている。自分たちの村は水がきれいなことで有名だが、この活動が水質汚濁防止にもつながり、ひいてはきれいな自然環境を守ることとなる。  
このことを、他の地域にも広げたいと思い、周りの学校への活動の呼びかけを行っている。（ロシア）

## 1 シンポジウム開催風景



## 2 環境学習 I (水生生物による水質汚染の判定)



## 3 「北東アジア地域の青少年からの提言」意見交換

